

※ 今週のアウトルック (10/26~10/30)

先週はドル高、ユーロ安が進んだ週となりました。

全般的にはECBの追加緩和示唆や、中国の利下げに大きく影響されているようです。

今週は先週のECBの追加緩和示唆や、中国の利上げの影響がどの程度残るのか、またそこからリバウンド的な動きは出てくるのかに、まずは注目したいと思います。

先週ドル円は、金曜日には中国の利下げきっかけに、一気に121.5円付近まで上昇してそのまま週末を迎えています。

今週はこのところのレジスタンスとなっている、121.5円付近から122円付近を突破できるかどうか、まず注目が集まりそうです。

ただ、突破できた場合でも継続的なドル高トレンドは、来週に米国雇用統計の発表を控える為、それほど長くは維持できない可能性が、いささか高いようにも思います。

ドル円の予想レンジは120円から122.5円です。

先週ユーロ円はECB総裁の追加緩和示唆などの影響を受け、133.5円付近まで下落しています。

今週は、この影響がどこまで残るかがまず注目されるころですが、ユーロドルが1.08付近のサポートラインを割ってしまうようなことがなければ、更なるユーロ売りが進む可能性は小さいようにも思います。

ユーロ円の予想レンジは132.5円から135円です。

ポンド円は先週185円を超え、187円超えを狙う展開となっています。

今週は187円を超えられるかどうか、まずポイントとなりそうですが、187円を超えるには、もう少し時間がかかる可能性が高いようにも思います。

ポンド円の予想レンジは185円から187円です。

今週はドル高ユーロ安がもう一段進むかどうかポイントとなりそうですが、来週に米国雇用統計の発表を控え、それほど大きな動きとならない可能性が、高いように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。